

# PCR検査の拡大は危険

私たちは健康であっても、新型コロナウイルスを他人にうつしてはいけない、またうつされてしまうと常時マスクをつけ、経済は疲弊し、学校教育や文化活動も制限され、ギスギスした生活を何ヶ月も強いられています。しかし、PCR検査は本当に恐ろしいウイルスを検出しているのでしょうか？

## ① ウィルスと人類は共生関係

ウィルスは30億年前から地球上に存在し、20万年前に誕生した人類はウィルスとともに生きてきました。腸内には1000兆個以上のウィルスが存在し、人間の遺伝子の4割はウィルスと一体化しているとも言われています。

コロナウイルスも例外ではなく、人間だけではなく、動物や植物にも無数のさまざまな種類が共

存していく、よほど病原性が強いもの以外は注目されてこなかったのです。「新型」とは、米国遺伝子バンクに登録されている主要な6種のコロナウイルスとは異なる遺伝子を持っているという意味で「新型」なのであり、これまでこの世に存在しなかったという意味ではありません。

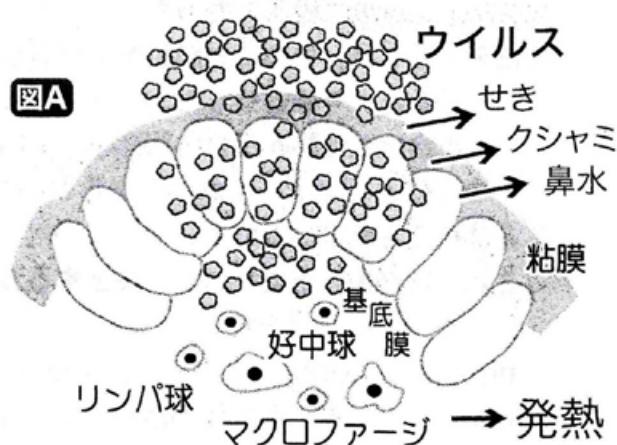
## ② 「無症状者から感染」報道に科学的根拠はない

気道に常在しているウィルスが粘膜をつき破って細胞に侵入し、数百万から億の単位まで増殖してはじめて、ウィルスを外へと排出し、また抑え込もうとして咳やくしゃみ・発熱などの症状が出てきます。(図A参照)気道にウィルスが付着しているだけでは何の症状も出ず健康体です。しかしPCRは数個でも気道に付着していると数億倍まで增幅して「陽性」と検出してしまいます。

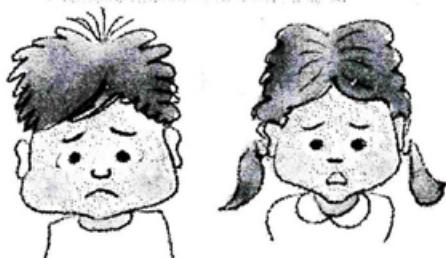
「PCR検査陽性=感染者」といえるでしょうか？手のひらに大腸菌が1個付着していたら「大腸菌感染症」というのでしょうか？

無症状者から感染するというのであれば、アクリル板に飛沫を飛ばしてウイルス数を調べる実験

が必要ですが、この小学生レベルの実験もなされず、実際にウィルスを排出しているというデータは保健所にもないのです。皆さん、安心してください！ 無症状者が感染源になるという報道は、科学的根拠のないまったくの「仮説」にすぎません。



### 子供たちの声



- 学校が楽しくない。運動会がない。●音楽の授業で声を出して歌えない。
- 公園では密になって遊んでいるのに学校で密になるなというのはおかしい。
- 中学の修学旅行の代替が太宰府の一日遠足に。
- 週末の宿題が多くて遊ぶ時間がない。
- 給食でおしゃべりしたら先生に叱られる。
- マスクを忘れたら幼稚園に入れないと。

### 3 PCRは無意味=発明者も警告

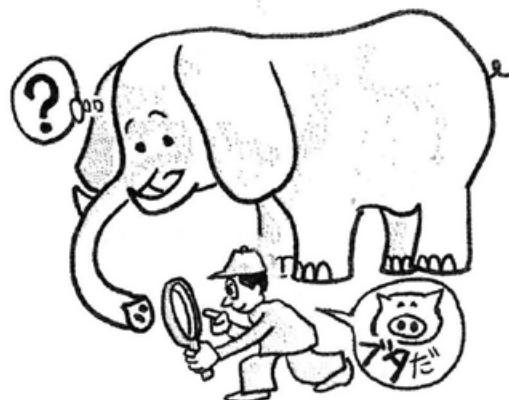
PCRは特定の遺伝子を増幅する機械であり、病原性を証明する道具ではありません。

新型コロナの遺伝子は、30000塩基の長さがあり、PCRで増幅しているのは100塩基なので、全体の300分の1の遺伝子を調べているだけです。ジグソーパズルの1ピースだけを見て全体の絵柄が特定できるでしょうか。PCR検査は全体の300分の1が同じだからといって、全体が同じであるという「理屈」でごまかそうとしているのです。残りの299は誰も調べていないのです。(図B参照)

Aの人人が陽性、Bの人人が陽性、ともに無症状期に接触があったから「クラスター」が発生したと報道されてきましたが、300分の1しか見ていないのに、同じウイルスだといえるでしょうか。接触する

前に持っていたウイルスはPCRで調べていいのです。

はじめに論文を発表した中国のグループですら、このウイルスが肺炎を引き起こす可能性があるとしか言っておらず、新型コロナウイルスに病原性があるという因果関係を証明した論文はいまだ世界に一つもないのです。PCRを発明しノーベル賞を受賞した故キャリー・マリス博士自身も「PCRを感染症の診断に使ってはならない」と警告していたのです。



図B

ウイルスの遺伝子情報は30000塩基 それを30センチ(300ミリ)定規にたとえるとPCRでは……

1ミリ(ピンクの部分)  
しか見ていない。

### 4 インフルエンザも新型コロナに！

新型コロナ感染症対策と称して、本来不要な自粛、三密を避ける、ソーシャルデスタンスやマスク社会を作り出しています。

PCR検査をやみくもに拡大すると、健康な大人や子供たちも、もともと持っていたコロナウイルスなどが反応して「陽性」になり、その周りにいる人たちも次々に「感染者」にして隔離され、基本的人権が守られない恐ろしい世の中になってしまいます。

本当は世の中に何も起きていないのに、重大な感染症が起きているかのように錯覚させるのがPCR検査であり、マスコミは一方的に「恐怖心」だけをあおってきました。

このままPCR検査をつづければ、インフルエンザ流行期には、インフルエンザもすべて新型コロナと診断されて「感染再拡大」があおられ、遺伝子組み換えワクチンという人類に投与したことのな

い危険性の高いワクチンを国民全員に接種へと誘導されかねません。

今一度コロナ騒動の原点に戻り、私たち市民の間で、PCR検査や抗ウイルス薬、ワクチンの危険性、限界、問題点について広く論議することが求められているのではないでしょうか。



## 学びラウンジ

\*新型コロナ騒動の真実について、さらに詳しく知りたい方は、YouTube「学びラウンジ」をご覧ください。感染学の専門家である徳島大学名誉教授・大橋眞氏が長年にわたる研究をもとに科学的見地から幅広く発信されています。



検索